

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 1 区分
【発行日】令和 6 年 12 月 26 日(2024.12.26)

【公開番号】特開 2023-100473(P2023-100473A)
【公開日】令和 5 年 7 月 19 日(2023.7.19)
【年通号数】公開公報(特許)2023-134
【出願番号】特願 2022-1183(P2022-1183)
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/6581(2011.01)

10

H 0 1 R 13/6471(2011.01)

H 0 1 R 12/72(2011.01)

【F I】

H 0 1 R 13/6581

H 0 1 R 13/6471

H 0 1 R 12/72

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 12 月 18 日(2024.12.18)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気絶縁性の保持部材と、

前記保持部材に保持される信号端子およびオスグランド端子とを備え、

前記信号端子および前記オスグランド端子は、端子の配列方向に沿って配列され、

前記オスグランド端子は、第 1 延在部と、前記第 1 延在部に対向する第 2 延在部と、前記第 1 延在部の端部および前記第 2 延在部の端部をつなぐ接続部とを有して、前記配列方向から見た側面視で突出し、

30

前記オスグランド端子は、前記接続部よりも手前の位置で前記第 1 延在部と前記第 2 延在部とをつなぐ、前記接続部とは別の接続部を有することを特徴とする、電気コネクタ。

【請求項 2】

前記別の接続部は、前記側面視で前記接続部に沿って延在することを特徴とする、請求項 1 に記載の電気コネクタ。

【請求項 3】

前記別の接続部は、前記側面視で前記接続部に対して傾斜して延在することを特徴とする、請求項 1 に記載の電気コネクタ。

40

【請求項 4】

前記別の接続部は、前記配列方向において前記第 1 延在部および前記第 2 延在部と面一であることを特徴とする、請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電気コネクタ。

【請求項 5】

前記別の接続部は、前記配列方向において離間する第 1 経路および第 2 経路を有することを特徴とする、請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の電気コネクタ。

【請求項 6】

前記第 1 延在部に接続される第 1 オスグランド実装部と、前記第 2 延在部に接続される第 2 オスグランド実装部とをつなぐ別の延在部をさらに備えることを特徴とする、請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の電気コネクタ。

50

【請求項 7】

前記別の接続部は、その途中において、電氣的に接続可能なギャップを有することを特徴とする、請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載の電気コネクタ。

【請求項 8】

前記信号端子の形状と前記オスグランド端子の形状は、同じであることを特徴とする、請求項 1 から請求項 7 のいずれか 1 項に記載の電気コネクタ。

【請求項 9】

前記請求項 1 から請求項 8 のいずれか 1 項に記載の前記電気コネクタと、前記電気コネクタの前記オスグランド端子に対して挿抜可能に係合するメスグランド端子を有する相手方電気コネクタとを備えることを特徴とする、電気コネクタセット。

10

【請求項 10】

電気絶縁性の保持部材と、

前記保持部材に保持されるメス信号端子およびメスグランド端子とを備え、

前記メス信号端子および前記メスグランド端子は、端子の配列方向に沿って配列され、

前記メスグランド端子は、第 1 延在部と、前記第 1 延在部に対向する第 2 延在部と、前記第 1 延在部の端部および前記第 2 延在部の端部をつなぐ接続部と、前記第 2 延在部に対向する第 3 延在部と、前記第 2 延在部の端部および前記第 3 延在部の端部をつなぐ別の接続部とを有して、前記配列方向から見た側面視で突出し、

前記メスグランド端子は、前記接続部よりも手前の位置で前記第 1 延在部と前記第 2 延在部とをつなぐ、さらに別の接続部を有することを特徴とする、電気コネクタ。

20

30

40

50